

県内私立高出願が大幅増

一般入試スタート 公立一発試験影響か

県内私立高校の一般入試が22日、高知、土佐、学芸の3校を皮切りに始まった。非公表としている清和女子、太平洋学園を除く7校の出願者数は計954人(表参照)。過去5年で最も多く、前年より47人の大幅増となった。入試担当者からは「公立高校入試が今回から一発入試になるため、保険の意味合いもあるのでは」との声も聞かれた。

(井上 学)

今年の高校入試は公立高の制度変更が大きな特徴。2006年度以降、前後期制が定着していたが、今回から

1回の試験で全定員を募集する。入試時期も、例年より1カ月ほど遅い3月に実施する。ある学校の担当者

は「一発入試に備えて入学先を確保する目的があるのでは」と話し、別の高校も「公立高入試の時期が遅くなったため、力試しをする受験生が増えた」。実際、22日に受験した高知市内のある中学3年生は「チャンスが1回だけだとプレッシャーが大きいので、先

に受験しておけば気分的に楽。最初は、お母さんが『私立も受けておいたら』と勧めてくれた」と、私立高を受験した動機を説明する。

中学校側の感じ方はさまざま。「例年とあまり変わらない」という学校も多いが、高知市のある中学校教頭は「今年は公立の上位校を志望し、私立を受験する生徒もいる。例年よりは私立の志願者が多い」と話した。

受験者数が増えたことに私立高側には歓迎ムードもあるが、ある学校の教頭は「実際にどれだけの合格者が入学してくれるか読めない」。手放しでは喜べないようだ。

23日は7校全てで試験を行い、26日までに合格者を発表する。

校名など	募集人員	出願者数	推薦の割合	入試合格者数	など
高知	約50人	196		44	
土佐	約50人	90		なし	
土佐女子	約20人	43		13	
学芸	推薦を含め50人	69		27	
中央・普通	前後期合わせて10人	122		105	
同・看護	前後期合わせて10人	225		165	
明德義塾	70人	159		153	
土佐塾	推薦を含め45人	50		23	